

# 雄武町図書館の現状と課題

## 1 図書館施設

### 【現 状】

雄武町図書館の施設規模については、昭和48年建設（平成9年改築）、RC造、専有延べ面積156.3㎡、公称図書収容能力は20,000冊となっています。

平成23年度末の蔵書冊数は、38,181冊であり、来館者数12,809人、貸出者数6,020人、貸出冊数26,977冊の実績となっています。

〈資料5参照〉



### 【課 題】

#### ■ 図書館施設の老朽化

現有図書館は、旧雄武郵便局局舎を平成9年に改築して活用しているものであり、建設から38年余り経過し、施設の老朽化が顕著である。併せて駐車スペースも極小であり、利用者の利便性を阻害している状況にあります。



#### ■ 図書館施設の狭隘化

蔵書冊数は38,000冊を超えるにもかかわらず、公称図書収容能力は20,000冊と蔵書資料の有効開架には至っていない状況である。さらに、学習スペース等の不足、書架間の通路幅が狭隘であり、利用者の利便性を阻害している状況にあります。



## 2 図書館サービス

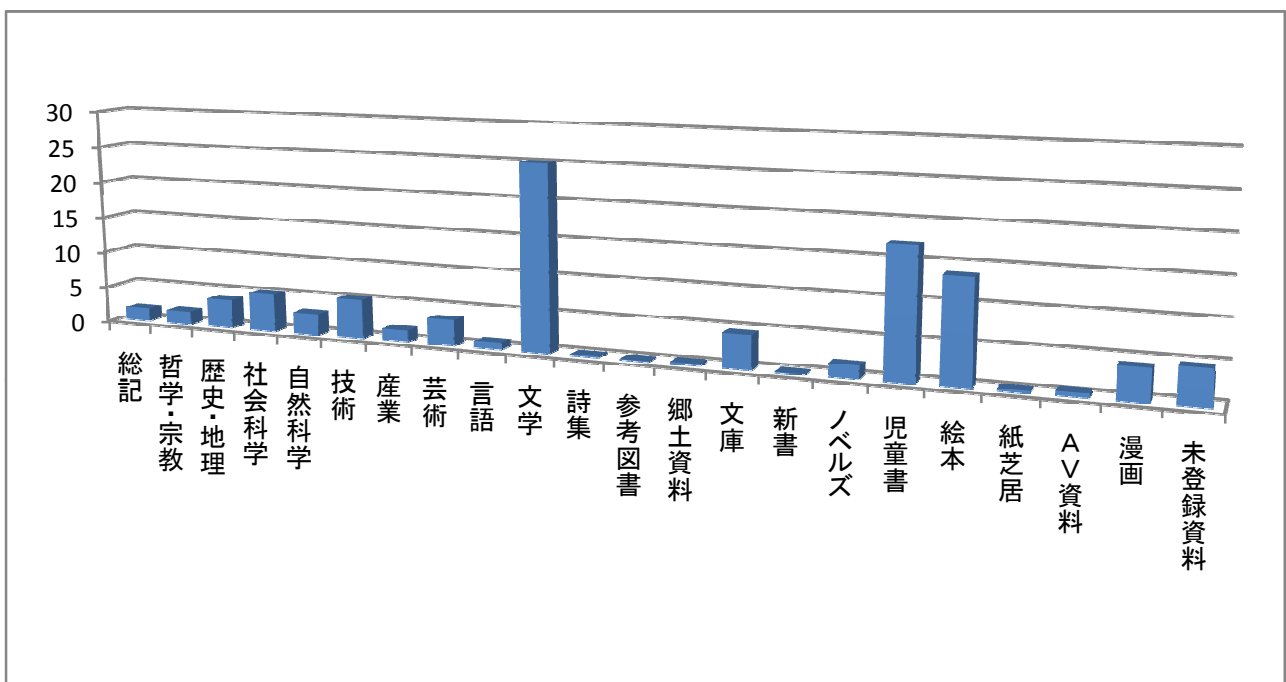
### (1) 資料収集と蔵書状況

#### 【現 状】

資料の分野では、文学、児童書、絵本が充実していますが、他の分野では5%以下にとどまっております。「図書館に関するアンケート調査結果」では、趣味、実用書、小説や専門書の充実を望む声があります。

収集した蔵書は、閲覧・貸出に供するため保存・管理されていますが、今後も利用者のニーズに応えた蔵書の充実が求められています。

〈資料5参照〉



(%)							
総記	1.8	産業	1.6	郷土資料	0.3	紙芝居	0.3
哲学・宗教	1.8	芸術	3.5	文庫	4.6	AV資料	0.6
歴史・地理	3.9	言語	0.9	新書	0.1	漫画	4.2
社会科学	5.2	文学	25.1	ノーベルズ	1.7	未登録資料	4.7
自然科学	2.9	詩集	0.2	児童書	17.1		
技術	5.3	参考図書	0.1	絵本	13.7		

#### 【課 題】

##### ■ 利用者ニーズに応える蔵書の充実

蔵書に対する利用者ニーズを的確にとらえた中で、特色ある資料収集を進めながら豊富で多様な蔵書の充実を図る必要があります。

##### ■ 資料保存機能の充実

図書館が積極的に資料収集を進め、永続的に資料や情報の提供を行うためには、図書館資料を適切に保存・管理する機能の充実が必要となります。

## (2) 利用状況

### 【現 状】

図書館資料の貸出を受けるための利用登録者数は、年々増加傾向にあります。23年度の貸出状況について、その構成を階層別で見ると、一般が66.0%と最も多く、次いで小学生が24.5%となっています。中学生・高校生はそれぞれ3%程度にとどまっています。「図書館に関するアンケート調査結果」では、図書館を利用したことの無い人の割合は7割を超えており、「今後、最も取り組むべきもの」として、図書の充実が26.0%と最も多く、次いで返却ポストの設置が10.0%、高齢者向けサービスの充実が9.6%、インターネット関連サービスの充実が9.3%となっています。

### 【課 題】

- 図書館利用の拡大に向けた取組みの必要性  
町公式ホームページでの図書館情報や町広報紙、新聞など多様なメディアを活用し、あらゆる機会を通して、図書館サービスのPRが必要です。
- 「図書館に関するアンケート調査結果」では、施設整備（読書スペースなど）に関して、「やや不満」・「不満」と回答した人の割合は35.7%、居心地の良さ（施設の広さなど）に関して、「やや不満」・「不満」と回答した人の割合は36.4%となっており、施設のあり方について検討する必要があります。
- 年齢層に応じた図書館サービスの展開  
町民のライフステージやニーズに応える図書館サービスの展開が必要です。

## (3) レファレンスサービス

### 【現 状】

レファレンスサービスは、利用者の相談に応じて、必要とする資料や情報を提供し、学習や調査・研究の支援を行うサービスで、利用者との資料を結びつける図書館の重要な業務です。これまで、利用者からの資料に関する相談に対し、検索等の対応はしておりますが、実績として集計はしていない状況にあります。

### 【課 題】

- 職員の育成  
利用者の幅広い学習や調査・研究ニーズの高まりに的確に対応するためには、多角的な視野からの様々な知識や情報が必要となります。このため、図書館サービスを担う司書等職員の育成が必要となります。
- レファレンスツールの充実  
利用者の求めに応じて、必要な資料や情報を提供するためには、参考図書に加え、電子媒体など各種情報ツールの充実が必要となります。また、レファレンス事例の蓄積や、索引作成などの自館資料の充実も求められます。

#### (4) 児童・青少年サービス

##### 【現 状】

児童サービスでは、学校・児童センター・保育所において、子どもの成長段階に応じた読書意欲を形成するため、ボランティアとの連携等による読み聞かせ活動を推進しています。

青少年に対するサービスとして、それぞれの年齢に配慮した読み物や、社会参加への準備に必要な資料等の提供に心がけていますが、中高生の利用は小学生と比較して少なく、その約4分の1となっています。

また、子どもの読書活動の推進にかかる具体的な施策については、「子どもの読書活動の推進に関する法律」（平成13年施行）に基づき、『雄武町子ども読書活動推進計画』を平成21年に策定し、関係機関と調整を図りながら実践していますが、見直しの時期が近づいています。

##### 【課 題】

###### ■ 家庭教育支援、学校教育との連携の充実

子どもたちの読書活動を推進するためには、家庭教育への支援や学校図書館とのさらなる連携が必要となります。

###### ■ 子どもたちの読書活動の推進と図書館利用の促進

『雄武町子ども読書活動推進計画』の成果を評価・検証し、学校や児童センター、保育所との連携により、さらなる施策推進のための計画見直しが必要となります。

#### (5) 高齢者サービス

##### 【現 状】

本町の人口に占める高齢者（60歳以上）の割合は、38.7%（平成23年3月31日現在）となっており、「図書館に関するアンケート」で「利用したことがない」と回答した人の割合が全体の34.0%となっています。また、9.6%の方が高齢者向けサービスの充実を望んでいる結果となっています。

##### 【課 題】

###### ■ 高齢者が利用しやすいサービスの提供

高齢者の利用の増加が見込まれる中、ニーズに合った資料収集や提供方法の工夫など、利用しやすいサービス提供の取組みが求められます。また、館内施設・設備への配慮も必要です。

さらに、高齢者が地域社会へ参加する場の提供や余暇活動を支援する機能が図書館に求められています。

## (6) 障害者サービス

### 【現 状】

障がい者向けのサービスについては、資料収集を含め未整備の状況です。

### 【課 題】

- 障がいに応じた資料の収集や提供方法の検討  
障がいのある人のニーズに応じたサービスを提供するため、点字図書や対面朗読室等の施設整備の検討が求められます。
- 利用者のニーズに対応できる、関係機関等との連携体制づくり  
視覚障害のある人へのサービスを行っている保健・福祉部署や関係団体との連携強化を図り、利用者のニーズに対応できる体制を整える必要があります。

## (7) 視聴覚サービス

### 【現 状】

図書館では、視聴覚資料を収集し、貸出サービスを行っておりますが、館内での視聴覚サービスの実施には至っておりません。蔵書されている資料数も全体の0.6%と少ない状況にあります。

### 【課 題】

- 利用者ニーズに対応した視聴覚資料の収集、保存、提供  
技術革新により媒体が著しく変化する中で、利用者のニーズにあった視聴覚媒体の資料収集や提供体制の構築が求められます。
- 図書館内での視聴覚と貸出サービスの一体化  
視聴覚資料は、館内での視聴覚と貸出の一体的なサービスが求められます。

## 3 郷土資料について

### 【現状と課題】

郷土資料は、雄武町に関する歴史や文化を後世に伝える有効な資料ではありますが、展示施設がないことから保管するだけにとどまっています。

町民の共有財産、知的資源である郷土資料を適切に保存し、閲覧等に供するための展示スペースの確保が課題となっています。





